

# 市政一般質問発言通告書（会派代表・個人）

多治見市議会 議長 様

令和 8年 5月 29日

 会派名 オールたじみ  
 6番議員 氏名 成田 康弘

質問題名	地域共生社会と高齢者支援について
質問要旨	<p>高齢化が進む中、本市においても要介護・要支援認定者は増加傾向にあり、高齢者支援の重要性はますます高まっています。そんな中、高齢者支援は、単に介護や医療サービスを提供するだけではなく、高齢者一人ひとりが、生き生きと楽しく前向きに生活し、健康で幸せを感じながら暮らしていくことができるまちづくりを進めていくことが重要であると考えます。</p> <p>昨年、厚生環境教育委員会で、「高齢者支援の取組みについて」東京都三鷹市、神奈川県大和市の先進的な取組みを学ぶことができました。</p> <p>高齢者が健康な時も、医療や介護が必要になった後も、住み慣れた地域で尊厳を保持しながら、自分らしい生活を安心して継続していくためには、地域包括ケアシステムをさらに強化し、地域全体で支え合う仕組みづくりをより一層推進していく必要があります。さらに、「支える側」「支えられる側」という関係を超え、人と人、人と社会がつながり、一人ひとりが生きがいや役割を持ち、互いに助け合いながら暮らしていくことができる「地域共生社会」の実現を目指していくことが重要であります。そのためには、高齢者の社会参加や地域活動への参加促進による介護予防・フレイル予防、認知症に対する正しい理解を深める取組み、認知症の人や家族が安心して暮らせる地域づくり、さらには、「難聴」は認知症の最大のリスク要因の一つであるとも言われており、補聴器購入費助成制度など、高齢者の日常生活を支える施策の充実が必要であります。</p> <p>そこで、本市における高齢者支援の現状と課題、また今後の取組みについて伺います。</p>
質問項目①	高齢者の社会参加促進の現状と課題、また今後どのように取組みを進めていくのか伺う。
質問項目②	フレイル状態を早期に発見し、適切な介護予防や社会参加につなげていく予防施策の現状と今後の方向性について伺う。
質問項目③	認知症になっても、安心して暮らせる地域づくり、認知症にやさしいまちづくりをどのように進めるのか考えを伺う。
質問項目④	本市における地域包括ケアシステムの取組みや、地域共生社会の実現に向け、今後どのように進めていくのか伺う。
質問項目⑤	加齢性難聴が高齢者の社会参加や認知症リスク等に与える影響について、本市はどのように認識しているのか伺う。
質問の相手方	市長、市民福祉部長、ニビも健康部長